

1-3. 事業実施体制

この砂漠化防止対策モデル事業調査は、図 1.1 のような体制によって実施した。

1-4. 実証試験施設の概要

砂漠化防止対策モデル事業において建設・設置された実証試験施設は、以下のとおりである。

(1) 地下ダム；

ナレ村クリカレ地区 (Koulikare) のコロongo川 (Kolongo) に、下記の地下ダムを建設した。

- ・ 構造 : アースダム式
- ・ 堤体の長さ : 約 210 m
- ・ 堤体の深度 : 3.0~11.4 m (最大深度)

(2) その他の実証試験施設；

- ・ 太陽光発電揚水施設 : 地下ダム貯水域の 3 基の揚水井 (深さ約 20 m) から揚水、1.76 kwp
- ・ 多目的給水施設 : 生活用水、家畜用水、農業用水を供給する水道施設
- ・ 農業実証圃場 : コンバンベド村 (Kombangbedo)、面積約 0.25 ha、穀類及び野菜の点滴灌漑等による栽培試験用
- ・ 水門式小規模ダム : 地下水涵養等のため地下ダムの約 1.2 km 上流の幹線道路橋を利用して建設、全長約 33 m、最大貯水高 1.2 m、水門数 23

(3) 地下水観測施設；

- ・ 自記地下水位観測施設 : 5 箇所 (自記水位計は老朽化のため 2001 年に撤去)
- ・ 地下水観測井 : ボーリング孔 3 孔、大口径井戸 2 基
- ・ 揚水井兼用観測井 : ボーリング孔 2 孔、大口径井戸 4 基
- ・ ピエゾメーター (水頭観測井) : 4 箇所、計 16 孔

(4) 気象 (雨量) 観測施設；

- ・ ナレ村クリカレ地区気象観測施設 : 雨量、蒸発量、気温・湿度等の観測。
- ・ コロongo川流域の雨量観測施設 : 3 箇所
ナレ村コソンコーレ地区 (Kossonkore)
ワノビアン村 (Ouanobian)
ニョカ村 (Noka)